

# 塁球報告

## 量子 打線爆発

### 二年振り勝利

(量子17-10生無、1回戦、14日、御殿下グラウンド、写真撮影：池田敬称略) ソフトボール大会練習試

合が開催され、量子化学研究室(量子)が生物無機化学研究室(生無)に17対10で勝利した。量子の勝利は二年

振り。10点を追う3回表、量子は先頭の石田が中前打で出塁すると、9安打9得点の



4回表量子二死満塁、走者一掃の右越二塁打を打つ歸家

[発行日] 2012年5月14日(月)

[発行者] ソフトボール代表 石田角太

[連絡先] 2-4336

## Rookies①

### 島本 章弘さん



島本 章弘 さん

本コラムでは、本年度から量子化学研究室ソフトボールチームに加わった選手のお話を掲載します。第一回は、島本章弘さん(学部四年)です。

三年生の時はソフトボールをやっていたのですが、今年はお二人(石田、市川)が熱心なので(笑)。実際、やってみて楽しいです。肩が強くなり、投げられるよう

僕も含めてなので、チーム全体としてもっと声を出してあげたいと思います。本試合までにはヒットを打てるように精進します。今後



好救援する市川

### 市川好投 ピンチを救う

9得点を挙げ、1点差に迫った直後の三回裏の守

り、量子は無死一、二塁のピンチを迎えた。ここで、

市川の投球を受けた捕手の三浦は「市川君は(ストライクが入るようになった。球に勢いがあった、打者が押されていて良かった。ストライクがもっと入ると、更に良い」。

市川は「自分自身、投げてみるまで制球が定まるか判らなかったが、無事に投げることが出来た。次の登板に向け、更に制球が上がるように調整していきたい」。

市川は「自分自身、投げてみるまで制球が定まるか判らなかったが、無事に投げることが出来た。次の登板に向け、更に制球が上がるように調整していきたい」。

市川は「自分自身、投げてみるまで制球が定まるか判らなかったが、無事に投げることが出来た。次の登板に向け、更に制球が上がるように調整していきたい」。

市川は「自分自身、投げてみるまで制球が定まるか判らなかったが、無事に投げることが出来た。次の登板に向け、更に制球が上がるように調整していきたい」。

市川は「自分自身、投げてみるまで制球が定まるか判らなかったが、無事に投げることが出来た。次の登板に向け、更に制球が上がるように調整していきたい」。

市川は「自分自身、投げてみるまで制球が定まるか判らなかったが、無事に投げることが出来た。次の登板に向け、更に制球が上がるように調整していきたい」。

## 量子化学研究室 薬品管理担当

### 自動登録システム構築中 (形式の詳細は近日紹介)

薬品を購入・使用したらすぐ連絡

kakuta@chem.s.u-tokyo.ac.jp

量子化学研究室  
ソフトボールチーム

